

超域研究機構

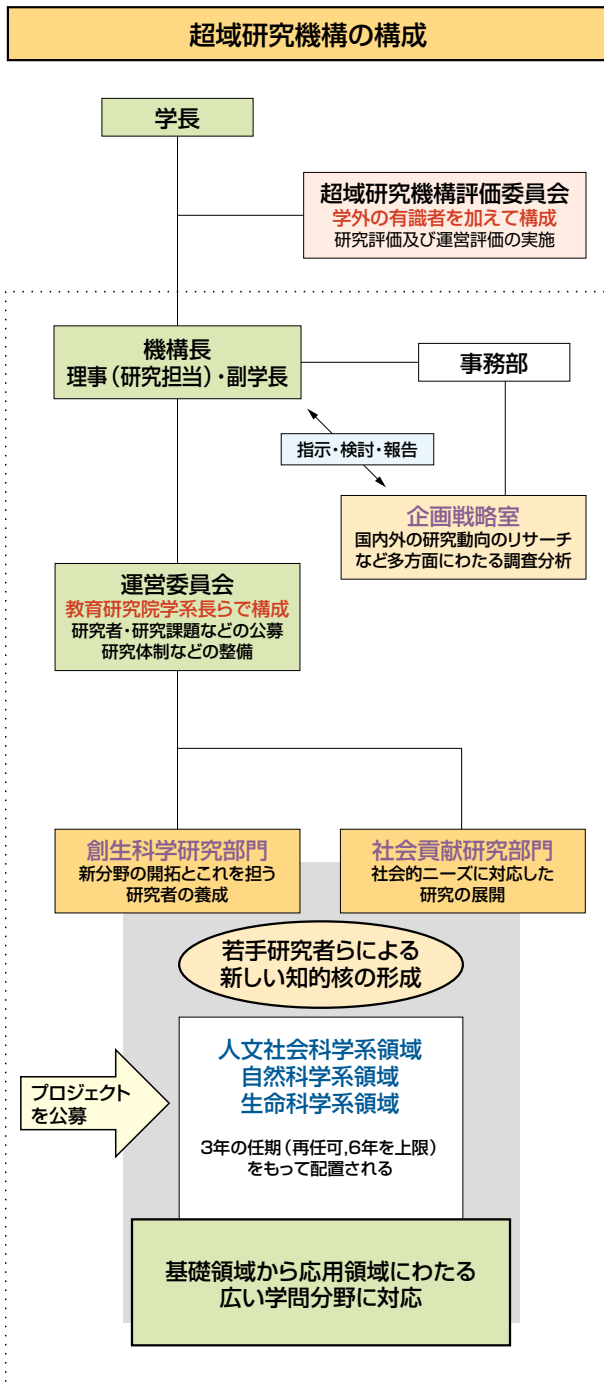
超域研究機構 (Center for Transdisciplinary Research) は、先端研究分野における横断型の研究体制を構築することにより、新しい分野を開拓し、現代的課題に関する社会的要請に応え、もって本学の研究教育体制の高度化を図ることを目的として平成15年度に設置されました。

この機構には、①新しい分野の開拓とそれを担う研究者の養成を目的とする「創生科学研究部門」、②社会的ニーズに対応した研究(産学連携等)を目指す「社会貢献研究部門」、さらに、本学における研究分野の企画戦略組織として「企画戦略室」が設置されています。

所属研究プロジェクトの選定については、平成15年度に第I期プロジェクトとして公募が行われ、15件が選定されました。さらに、21世紀COEプログラムに選定された「脳神経病理学研究教育拠点形成」プロジェクトも本機構に所属することとなりました。

平成17年度には、第II期の公募が行われ、学外者を含めた審査委員会の審査により16件の応募に対して10件のプロジェクトが選定されました。

これら合計26件のプロジェクトが、本機構に所属し、研究に邁進しています。



創生科学研究部門

	プロジェクト名称	リーダー
第I期	大域的文化的システムの再構成に関する資料学的研究	関尾 史郎
	メダカをモデルにした脊椎動物の性決定機構に関する総合研究	酒泉 満
	日本地球掘削科学の拠点形成:海洋底地球科学分野の強化と新領域(地下生物圏)の創成	宮下 純夫
	超高分子設計による超酵素機能の人工構築と超機能開拓—キラルらせん高分子の分子認識機能と電子・磁気機能のナノフュージョンによる超機能の創成—	青木 俊樹
	ナノエレクトロニクス・デバイス国際研究	金子 双男
	生体機能と機能関連情報の可視化プロジェクト	宮川 道夫
	植物の病害抵抗性のシグナル伝達機構の多角的解析と高度病害抵抗性植物の作出	古市 尚高
	発生における細胞機能のダイナミクスとエピジェネティクス	伊藤紀美子
	リアルとバーチャルな運動における感覚刺激が生体にも与える影響に関する研究	木竜 徹
	ヒトおよびモデル生物からの「ありふれた病気」への戦略的アプローチ	木南 凌
第II期	先天性骨格疾患における分子病理学的解明と組織機能再建	網塚 憲生
	幹細胞による再生医療の新技术の開発	里方 一郎
	水分子の脳科学	中田 力
	脳神経病理学研究教育拠点形成(21世紀COEプログラム)	高橋 均
	ヒト認知系の統合的研究	本田 仁視
	多元性社会の原型としてのヘレニズム—哲学・宗教・紛争—	山内 志朗
	プロテオーム発現系の機能工学的研究	内海 利男
	次世代アドホックネットワーク基盤技術研究開発プロジェクト	間瀬 憲一
	一次元新奇超伝導物質の創製と多重極限下での物性研究	山田 裕
	成長円錐のプロテオミクスから脳構築と損傷修復の過程を探る	五十嵐道弘
心の病気の科学	那波 宏之	

社会貢献研究部門

	プロジェクト名称	リーダー
第I期	地場産業技術融合型先端医療産業クラスター構築	原 利昭
	スギ花粉飛散抑制に関する基礎的・応用的研究	平 英彰
第II期	田園都市における生物多様性回復のためのネットワーク	紙谷 智彦
	機能分子解析に基づく代謝性腎疾患のトランスレーショナル・リサーチ	斎藤 亮彦
	ステロイドに頼らない膠原病の画期的治療法開発—免疫寛容誘導を目的とする液性・細胞性免疫制御の研究—	中田 光